

(指定様式)

## 団体調書【はじめての一步部門】

### (1) 団体概要

団体名	めえーブルファーム	HP等 URL	なし
団体種別と 設立年月	<input type="checkbox"/> NPO法人( 年 月) <input type="checkbox"/> その他法人( 年 月) <input checked="" type="checkbox"/> 任意団体(H28年 1月)	活動分野	3、5、7、13
代表者名	役職名: 会長 氏名: 鈴木 光明	会員数	8名
団体連絡先 (申請担当者)			

### (2) 会員名簿

	氏名	役職名	住所	生年月日
※役員が5人以上の場合は、別に名簿を添付してください。	鈴木 光明	会長		
	鈴木 智	副会長		
	鈴木 康生	事務局長		
	貞島 容子	会計		
	石川真美子	庶務		

### (3) 団体の活動目的

活動の目的・目標 ※何を指して活動しているのかを簡潔に記入	<p>近年、中山間地域においては高齢化や人口減少で、里山や田畑の管理ができず、耕作放棄地が増えてきている。整備のされていない土地に野生獣(猪、鹿など)が入り、田畑を荒らしたり、人の住む地域の安全安心を脅かしたりする被害があり、課題となっている。</p> <p>その課題に対して、動物(ヤギ)を活用した除草(以下、エコ除草と呼ぶ)を行い、地域住民の草刈り作業を軽減することや、里山や耕作放棄地を整備することで、中山間地域の豊かな里山風景を保つことを目標としている。また、ヤギがいることで、市内外の多くの人々が関心を持つことで、中山間地域を魅力的な場所にし、都市部と中山間地の相乗効果により「SDGs 未来都市とよた」の実現を目指している。</p>
活動の内容・活動実績 ※具体的に記入	<ul style="list-style-type: none"><li>ヤギを活用した除草事業</li><li>ふれあい・広報活動事業(足助及び豊田市中心部のイベント参加)</li><li>ふれあい広場(めえーパーク)の遊具設置、維持管理</li></ul>

(4) 補助金の使用用途と活用する活動・事業内容など

- ・ 昨年度はヤギの健康保持と広報活動に力を入れた。エコ除草への関心が高まっているが、飼育方法やエコ除草方法が示されていないので、マニュアルを作成する。
- ・ 市民への貸出しが気軽にできるように、ワイヤーメッシュを購入し、エコ除草の拡大を図る。消耗品費：5.0万円（ワイヤーメッシュ、針金、金棒）一式

(5) 審査項目毎にアピールしたいこと

<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会課題に対して、団体の活動目的が明確となっているか。(趣味や娯楽、特定の個人や団体の利益が目的となっていないか)</li> </ul>	<p>中山間地域の高齢化と山林や田畑の荒廃の増加は全国的に社会課題である。足助地区の65歳以上の人口に占める割合は約40%であり、喫緊の課題である。土地の整備を怠ると荒廃が加速化し、獣害も拡大するため、放置すると豊田市の美しい里山の風景が継続できなくなる。草刈り等、定期的な土地の整備をすることが解決策であるが、広大で斜面の多い山林などの草刈りは危険を伴う作業であり、高齢化した住民には負担である。その社会課題に対して、雑草を食べるヤギの特性を活かしたエコ除草という仕組みを作り、中山間地域の草刈り作業の軽減と里山景観保持を目指している。</p> <p>ヤギを放牧している里山（足助新盛地区）は、除草がされ美しい景観が保たれており、地元住民に共通の会話や癒しの効果をもたらせている。また、休日には、市内外から親子連れが訪れ、ヤギ（生き物）と自然にふれあうきっかけになっている。</p> <p>このように「まち」に住む親子が、ヤギやエコ除草を知ることによって、中山間地域の社会課題に関心を持ち、地域の問題は社会全体で取り組む課題であると意識することが社会課題の解決に近づいていると考えており、「SDGs 未来都市」豊田市の「まち」と「いなか」をつなぐ取り組みに貢献していると言える。</p>
<p><b>【資金】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団体の自主的な財源を確保しようとしているか(会費・参加費等)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正会員、賛助会員の会費、寄付、募金で活動資金を確保する</li> <li>・ リーフレットやイベント参加、開催を通して、活動内容を広報し、会員や協力者を増やす。</li> <li>・ エコ除草を地域や企業に活用してもらい、収入を得る。</li> </ul>
<p><b>【継続性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団体の組織的な活動ができる体制が整っているか。</li> <li>・ 適正な事業計画が作成されているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月1回以上の定例会、年1回の総会で、年間計画及び、収支の報告を実施。会員内では、SNSを活用した合意を図っている。会員の約半数は地元住民で地元との連携を図る。</li> <li>・ 会の目的、目標の共通理解を会員間で図り、特定のメンバーへの負担を軽くする。活動に関心を持つ若者育成を図る。</li> </ul>